

令和 7 年 度

新宿区立新宿歴史博物館等文化・歴史施設
指定管理者の管理業務に係る事業評価結果
(新宿区立漱石山房記念館)

令和 8 年 1 0 月

新宿区

目 次

I	評価の目的	1
II	施設の概要	2
III	評価の概要	3
IV	評価結果	
1	評価結果	4
2	各項目に対する個別評価	5
3	全体評価	7

◎評価資料（指定管理者提出資料）

1	利用率・稼働率	(資料1)	9
2	利用・サービスに関すること	(資料2)	11
3	省エネルギー・省資源	(資料3)	17
4	管理運営経費に関すること	(資料4)	18
5	事業に関すること	(資料5)	25

◎参考資料

1	新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者の 管理業務に係る事業評価に関する要綱	(参考資料1)	31
2	事業評価委員会委員名簿	(参考資料2)	33
3	事業評価委員会開催実績	(参考資料3)	34

I 評価の目的

「漱石山房記念館」は、夏目漱石終焉の地において、夏目漱石が晩年を過ごした旧居「漱石山房」を形あるものとして再現し公開するとともに、夏目漱石の作品や功績を広く発信していくことにより、地域の文化や歴史に対する区民の愛着と誇りを育み、地域文化の振興と発展に資するため、新宿区が、平成 29 年 9 月に開設した施設です。

新宿区では、指定管理者制度を導入している施設について、指定管理者から提出された事業計画書及び区と指定管理者が締結する協定書のとおり事業が実施されたかを検証するため、外部の委員の参画による事業評価委員会を設置し、事業評価を実施することとしています。これに基づき、令和 8 年 7 月 31 日、新宿歴史博物館等文化・歴史施設指定管理者事業評価委員会を開催しました。

漱石山房記念館の運営については、開館時の平成 29 年度から指定管理者制度を導入し、公益財団法人新宿未来創造財団が開館当初から継続して同館の管理運営にあたっています。今回の評価対象期間は令和 7 年度の 1 年間となります。

この報告書は、同事業評価委員会による評価結果を踏まえて区の評価をまとめたものです。評価結果は、今後の管理運営業務の改善及びサービスのより一層の向上のため、公益財団法人新宿未来創造財団に通知することとします。

Ⅱ 施設の概要

- 1 施設の名称 新宿区立漱石山房記念館
- 2 所在地 東京都新宿区早稲田南町 7 番地
- 3 規模 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地上 2 階 地下 1 階建
敷地面積 1114.79 m² 延床面積 1276.14 m²
- 4 開設年月 平成 29 年 9 月 24 日開館

5 施設

施設 内容	2 階	資料展示室、展示準備室 等
	1 階	エントランスホール、カフェ厨房、 交流・展示スペース、漱石山房展示室、授乳室、 トラックヤード、荷卸室
	地下 1 階	事務室、収蔵庫、図書室、多目的スペース、荷解室、 機械室、講座室

6 休館日

- (1) 月曜日（ただし、月曜日が休日の場合は直後の休日でない日）
- (2) 年末年始（12 月 29 日から翌年 1 月 3 日）

7 開館時間

午前 10 時から午後 6 時まで

8 指定管理者

公益財団法人新宿未来創造財団

9 管理運営業務の概要

- (1) 記念館の運営業務
利用承認、利用料金の収納、職員の配置、人材育成、危機管理等
- (2) 施設の管理業務
記念館の施設、附帯設備その他の設備の維持管理に関する業務等
- (3) その他記念館に関し、区が必要と認める業務

Ⅲ 評価の概要

「新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者の管理業務に係る事業評価に関する要綱」に基づき行いました。

1 事業評価委員会

- (1) 名称 新宿歴史博物館等文化・歴史施設指定管理者事業評価委員会
- (2) 構成 委員 6名（外部委員4名、内部委員2名）

2 評価対象期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

3 評価項目

- (1) 施設の運営に関すること
- (2) 利用・サービスに関すること
- (3) 施設・設備の管理に関すること
- (4) 管理運営経費に関すること
- (5) 事業に関すること

4 評価方法

指定管理者から提出された「令和7年度事業報告書」及び関連資料のほか、事業評価委員会開催日当日における指定管理者からの説明・質疑応答を踏まえ、各委員が下記基準(1)により個別評価・総合評価を行いました。

各委員の評価点の平均を踏まえ区が個別評価・総合評価を決定し、総合評価の点数を下記基準(2)を参考に振り分けて全体評価を決定しました。

(1) 評価基準

評価点	評語
4	優良 事業計画等で求められる水準を超えて良好であり、〇〇の点で特に評価できる
3	良 事業計画等で求められる水準を超えて良好である
2	適当 事業計画等で求められる水準を満たしている
1	課題あり 事業計画等で求められる水準を満たしておらず、改善を要する

(2) 全体評価の基準

総合評価	全体評価
3.5 以上	4 優良
2.5 以上 3.5 未満	3 良
1.5 以上 2.5 未満	2 適当
1.0 以上 1.5 未満	1 課題あり

IV 評価結果

1 評価結果

各委員の評価を踏まえ、以下のとおり区が決定しました。

個別評価		評価
1	施設の運営に関すること	2.8
2	利用・サービスに関すること	3.1
3	施設・設備の管理に関すること	2.8
4	管理運営経費に関すること	2.9
5	事業に関すること	3.3
総合評価		3.0
全体評価		3（良）

<参考：各委員の評価>

		A	B	C	D	E	F	平均
個別評価	1 施設の運営に関すること		3.4	3.0	3.1	2.4	2.1	2.8
	2 利用・サービスに関すること		3.7	3.0	3.5	2.7	2.5	3.1
	3 施設・設備の管理に関すること		3.0	3.0	3.7	2.3	2.0	2.8
	4 管理運営経費に関すること		3.0	3.0	3.7	2.3	2.3	2.9
	5 事業に関すること		4.0	3.0	4.0	3.0	2.5	3.3
総合評価			3.4	3.0	3.6	2.6	2.3	3.0

2 項目別の個別評価

(1) 施設の運営に関すること

施設の運営に関して「利用率・稼働率」、「職員体制」、「職員教育」、「緊急時の対応」、「区との連絡調整」、「適正な労働環境の確保」、「その他施設の運営」の観点から評価を行いました。

【評価 (2.8 点)】

- ・利用者数は 58,761 人となり、前年度に引き続き目標達成はできなかったものの、前年度実績を上回った。YouTube による展示会の見どころ紹介や来館者を巻き込んだ SNS キャンペーン、他機関との連携による発信等、目標達成に向けた取組を行っていることは評価できる。
 - ・採用を工夫し、学芸員資格のある職員を増やしたことは評価できる。
 - ・全職員にコンプライアンス研修を実施しているほか、接遇研修や被災文化財対応基礎研修といった施設運営に資する研修に参加、組織内研修等で共有していることが評価できる。
 - ・緊急連絡網や危機管理マニュアルは、計画通り整備されている。
 - ・区と月に 1 回、定例の月次報告会を実施し、事務連絡や協議等が行われている。アンケートの要望についても適切に報告・調整されている。
 - ・ハラスメント研修の実施や、産業医による「何でも相談室」を開催（月 1 回）するなど、適正な労働環境を確保するための取組が行われている。
 - ・協定書及び仕様書に定める施設の運営に関して、必要な措置が講じられている。
- 以上、施設の運営に関して、適正に運営されていると評価する。

(2) 利用・サービスに関すること

施設の利用・サービスに関して「利用手続」、「サービス水準の確保」、「利用者サービスの向上」、「利用者対応・接遇」、「利用者要望の把握・対応」、「個人情報等の適切な対応」の観点から評価を行いました。

【評価 (3.1 点)】

- ・条例や規則、運用基準に基づき、利用手続きを適正かつ公正に行っている。
- ・協定書、仕様書に沿った水準で事業計画を立て、計画どおり業務を実施しており、適切に業務・事業が行われている。
- ・チケット購入方法や外国人対応に工夫が見られ、多様な利用者の利便性を向上するための取り組みを行っている。
- ・月例ミーティングや接遇マニュアル等を通して利用者対応の品質維持・向上に努め、利用者アンケートの満足度調査では、「とても満足」「満足」の合計が 98.5%（有効回答）と、高い評価を得られた。特に利用者から要望の多かった写真撮影について、撮影可能場所の拡大、フォトスポットの設置により対応したほか、要望が寄せられたミュージアムショップのグッズ拡充に向け、新規 11 種のグッズを展開するなど、意欲的に対応している。

- ・個人情報取扱業務に関する業務フローを策定し、個人情報等の適切な管理に努め、各規則・規定等を遵守し適正に対応している。

以上、利用・サービスに関して、適切に行われていると評価する。

(3) 施設・設備の管理に関すること

施設・設備の管理に関して「施設・設備管理」、「施設修繕・備品管理」、「省エネルギー・省資源」の観点から評価を行いました。

【評価 (2.8 点)】

- ・施設設備定期点検について計画どおりの実施・適切な管理がされている。点検により空調機の不具合を検知し、冷媒漏出を抑えたことが評価できる。
- ・防犯カメラモニターの更新、雨水排水ポンプ修繕、講座室倉庫の結露防止、展示ケースの補修等に対応した。開館から8年が経過し、経年劣化による修繕の増加に適切に対応している。
- ・省エネルギー・省資源の取組について、ゼロカーボン電力の使用やみどりのカーテン普及啓発事業への参加など、計画的・継続的に取り組んだ。

以上、施設・設備の管理は、適正に行われていると評価する。

(4) 管理運営経費に関すること

管理運営経費に関して「適正な会計」、「目標の達成」、「経費節減、収入・利益率確保の努力」の観点から評価を行いました。

【評価 (2.9 点)】

- ・適正に会計管理を行っており、監査法人による外部監査も実施されている。
- ・収益の実績は計画を上回っており、特にミュージアムショップが大きな収益を上げたことは評価できる。

以上、管理運営経費は、適正に執行していると評価する。

(5) 事業に関すること

漱石山房記念館の事業運営に関して「事業実施」、「効果的・効率的な視点」の観点から評価を行いました。

【評価 (3.3 点)】

- ・区立図書館との連携、朗読会の開催、開館記念・新年のプレゼント企画のほか、吾輩は猫である発表120年に合わせたプロモーションの実施、声優による朗読劇等、新たな施策を展開し、利用者が何度も訪問したくなるような多様な事業が実施されている。

以上、事業に関して、適切に実施していると評価する。

3 全体評価

令和 7 年度の指定管理者の管理業務について、各評価委員の評価を踏まえ、総合評価は「3.0」となりました。また、全体評価は、評価基準（2.5 以上 3.5 未満→良）に照らし、「3：良」と評価しました。

〔総合所見〕

利用者数は目標利用者数には達しなかったものの、年間を通じて多くのイベントを開催し、着実に施設の愛好者を増やしている。これにより、観覧料収入については前年度を上回るなど、概ね良好に運営されている。

情報発信の強化や参加型プログラムの実施など指定管理者のスキル・ノウハウを活かすとともに、ボランティアなどの協力を積極的に取り入れ、開かれた運営がなされていることは高く評価できる。

新宿区及びその他の自治体、区立図書館、他の文学施設や民間企業との連携による講演会、スタンプラリーや朗読会などの実施により利用者の間口を広げるとともに、地域内連携を重視した運営を行っている。また、新宿歴史博物館と連携し、「動物」をテーマとした展示会を開催するなど、来館者増に向けた相互連携に努めている。

今後も、都民・区民及び地域の方に、より多く施設を利用していただけるよう、夏目漱石の功績を十分に活用してより魅力的な事業を実施されることを望む。

◎評価資料（指定管理者提出資料）

事業評価を行うために使用した資料は次のとおりです。

- 1 利用率・稼働率・・・・・・・・・・・・・資料 1
- 2 利用・サービスに関すること・・・・・・・・・・・・・資料 2
- 3 省エネルギー・省資源・・・・・・・・・・・・・資料 3
- 4 管理運営経費に関すること・・・・・・・・・・・・・資料 4
- 5 事業に関すること・・・・・・・・・・・・・資料 5

なお、評価にあたっては、上記資料の他に、「職員体制」、「職員教育（研修一覧）」、「緊急時の対応（緊急連絡体制）」、「適正な労働環境の確保」、「個人情報等の適切な対応」、「施設設備定期点検等実施状況」、「施設修繕実績報告」等、指定管理者から提出のあった資料に基づき、各項目の評価を行いました。

1. 利用率・稼働率

令和 7 年度利用者数は事業計画に対して 83.9%の達成率となったが、展示会ごとに YouTube による展示会の見どころ紹介の配信や X（旧 Twitter）の活用、来館者が SNS で漱石山房記念館を紹介する SNS キャンペーンによる情報発信を行った。また、財団他部署と連携してテーマ展示連動のスタンプラリー、子ども向け落語紙切りイベント等を実施した。展示室（有料）の利用者数は前年度比 100.7%と計画比 95.2%となった。

① 施設別利用者数及び評価指標の実績報告

施設名	利用者数				
	計画(人)	実績(人)	達成率	前年度(人)	前年度比
展示室（有料）	17,500	16,662	95.2%	16,548	100.7%
講座室	6,000	2,758	46.0%	2,990	92.2%
展示室（無料）*	46,500	5,967	84.6%	4,767	125.2%
図書室		7,506		7,505	100.0%
カフェその他**		25,868		20,470	126.3%
合計	70,000	58,761	83.9%	52,280	112.4%

*：メンバーズ倶楽部、招待者、ぐるっとパス等

**：カフェ、取材・視察等

② 利用者数

	今年度実績	前年度実績	前年度比
入館者数	58,761 人	52,280 人	112.4%
開館日数	296 日	297 日	99.7%
1 日平均利用者数	198.5 人	176.0 人	112.8%
展示会回数	4 回	4 回	±0 回

(内訳)

		今年度実績	前年度実績	前年度比
有料	展示室	16,662 人	16,548 人	100.7%
	有料計	16,662 人	16,548 人	100.7%
無料	展示室（無料）＊	2,399 人	1,768 人	135.7%
	メンバーズ倶楽部	857 人	822 人	104.3%
	招待者	553 人	575 人	96.2%
	取材・視察	471 人	508 人	92.7%
	ぐるっとパス	2,158 人	1,602 人	134.7%
	講座室	2,758 人	2,990 人	92.2%
	図書室	7,506 人	7,505 人	100.0%
	カフェその他**	25,397 人	19,962 人	127.2%
	無料計	42,099 人	35,732 人	117.8%
合計		58,761 人	52,280 人	112.4%

＊：学校行事（小・中学生）、障害者等

**：導入展示、カフェ、ブックカフェ等

< 特別展 >

「発表 120 年記念『吾輩ハ猫デアル』」

令和 7 年 10 月 11 日～令和 7 年 12 月 7 日

観覧者数 5,380 人

< 通常展 > 3 展示会

テーマ展 「外国語になった漱石作品」

令和 7 年 4 月 24 日～令和 7 年 7 月 13 日

観覧者数 4,729 人

テーマ展示 「そうせきとどうぶつたち」

令和 7 年 7 月 17 日～令和 7 年 10 月 5 日

観覧者数 5,460 人

「夏目漱石と漱石山房 其の三」

令和 7 年 12 月 13 日～ 令和 8 年 3 月 31 日

観覧者数 6,427 人

※会期は令和 8 年 4 月 19 日まで

（令和 7 年度分）

2. 利用・サービスに関すること

(1) 利用手続

新宿区立漱石山房記念館条例第 27 条の範囲内で、展示資料の観覧に係る利用料金及び講座室の利用に係る利用料金を設定した。

① 利用料金（展示資料の観覧に係る利用料金）

区分		1 人 1 回当たり	
		一般	小学生・中学生
通常展	個 人	300 円	100 円
	団体（20 人以上）	150 円	50 円
特別展*	個 人	500 円	100 円
	団体（20 人以上）	250 円	50 円

*：特別展チケットで通常展示の観覧も可能。

② 利用料金（講座室の利用に係る料金）

区分	午前 10:00-13:00	午後 13:30-17:45	全日 10:00-17:45
料 金	3,000 円	6,000 円	9,000 円

※ マイク、音響設備、椅子は無料。

※ 附帯設備（映写設備等）・・・ 1 区分につき 2,000 円、全日 4,000 円

(2) サービス水準の確保

基本協定書及び仕様書の内容に沿って業務・事業を行った。

(3) 利用者サービスの向上

利用者の方が常に安全で快適な状態で漱石山房記念館の施設や設備を利用できるように、計画的に維持管理や保守点検を行い、施設を保持した。

また、利用者サービス向上のため、指定管理事業として以下の業務を実施した。

- ① メンバーズ倶楽部の加入・更新手続き実績：111 人
- ② 音声ガイド貸し出し実績：2,209 人、ポケット学芸員のリーフレット配布実績：72 人
- ③ レガスまつり（漱石山房まつり）を開催し、展示無料観覧者を含む延べ 1,201 人が来館
- ④ ばる新宿ガイドに会員割引を掲載
- ⑤ ぐるっとパス利用実績：2,158 人
- ⑥ ふるさと納税の返礼品などブックカフェ事業者と連携し、漱石山房記念館招待券を含む申し込みを 14 件受けた。

- ⑦ 展示会ごとに学芸員による見どころ解説を YouTube で配信した。
- ⑧ 記念館公式 X アカウントで最新の館情報・漱石ゆかりの地の紹介などを発信した。

(4) 利用者対応・接遇

利用者への良好な接客対応を行うため、職員モラルの向上に資するために必要な研修等を実施した。

(5) 利用者要望の把握・対応

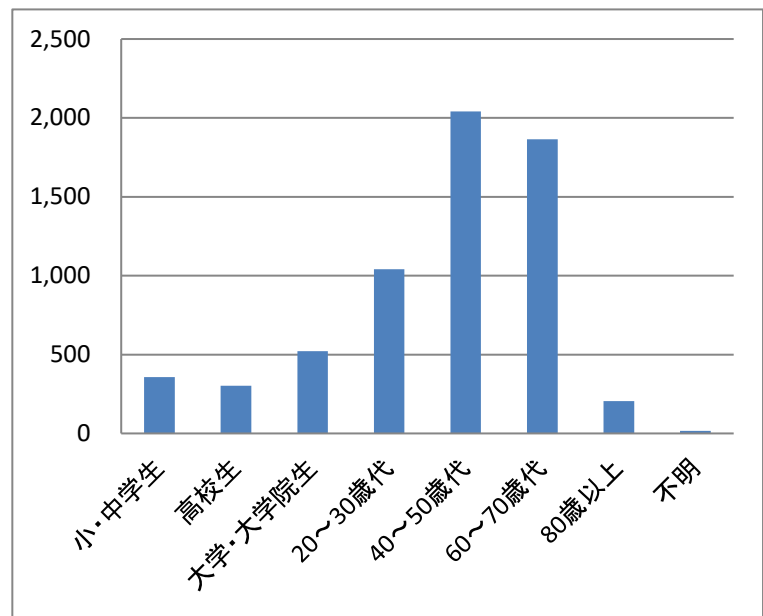
- ① 利用者アンケートを通年で実施した。
- ② 窓口等で寄せられる利用者のニーズ等の収集を行い、施設運営に反映させた。（新規ミュージアムグッズ作成、接客対応の向上など）

利用者アンケート集計結果

回答数 6,349

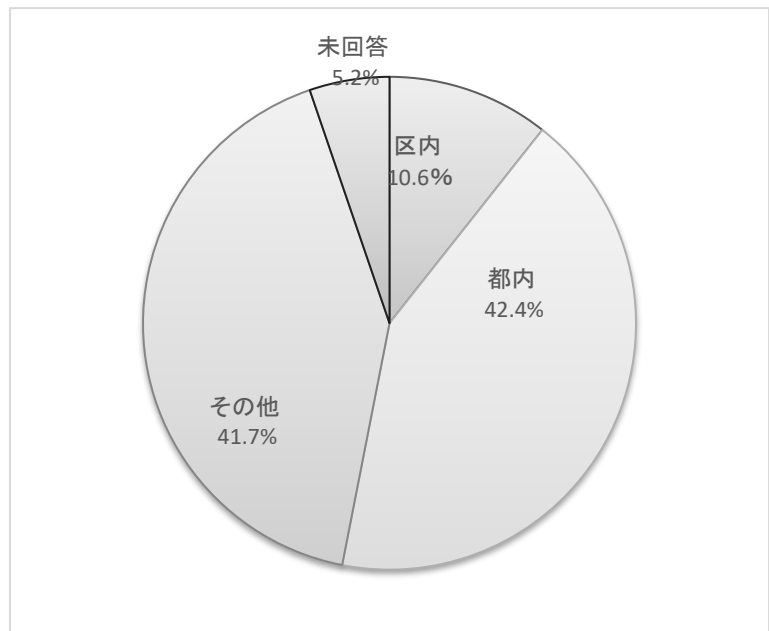
ア 年齢分布

	人数	総計	割合
小・中学生	357	6,349	5.6%
高校生	303		4.8%
大学・大学院生	521		8.2%
20～30歳代	1,041		16.4%
40～50歳代	2,042		32.2%
60～70歳代	1,864		29.4%
80歳以上	204		3.2%
不明	17		0.3%



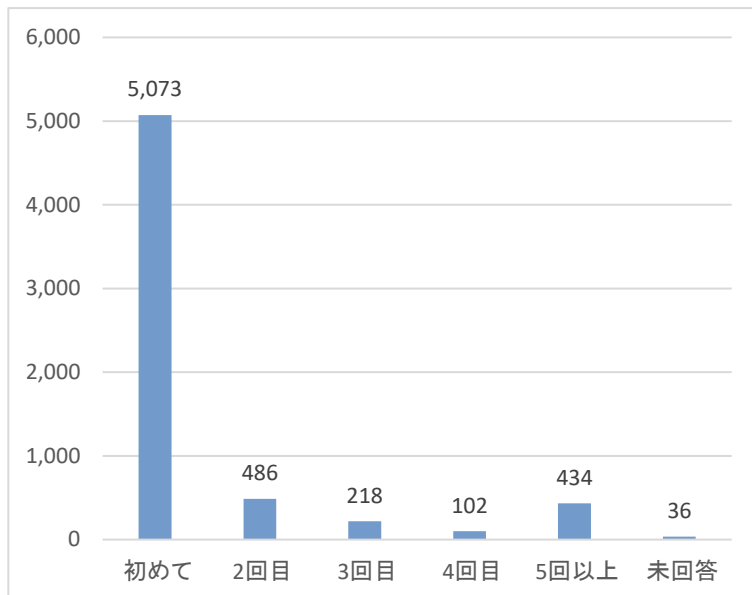
イ 居住地

	人数	総計	割合
新宿区内	676	6,349	10.6%
東京都内	2,694		42.4%
その他	2,646		41.7%
未回答	333		5.2%



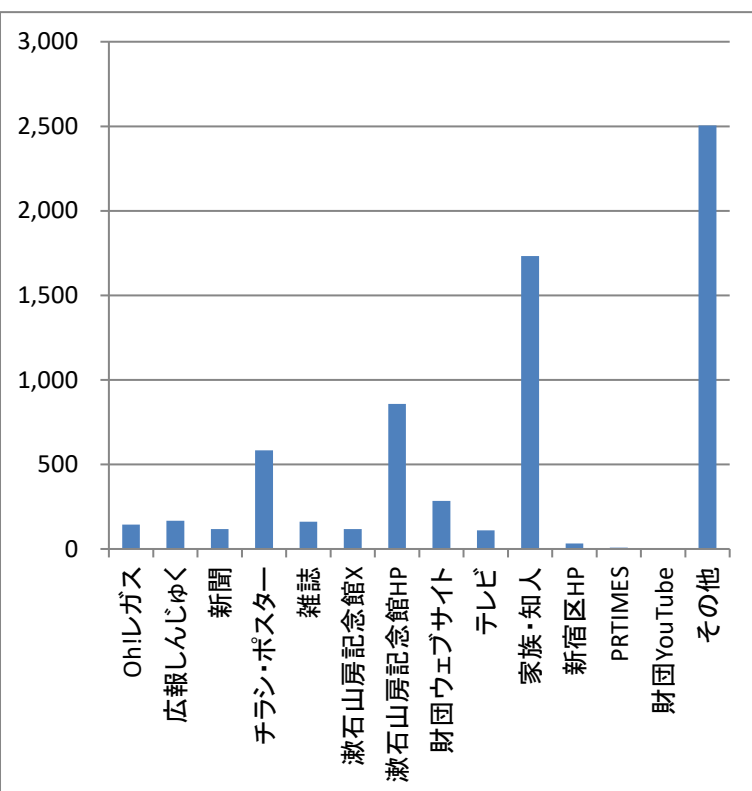
ウ 来館回数

	人数	総計	割合
初めて	5,073	6,349	79.9%
2回目	486		7.7%
3回目	218		3.4%
4回目	102		1.6%
5回以上	434		6.8%
未回答	36		0.6%



エ 当館を知った媒体

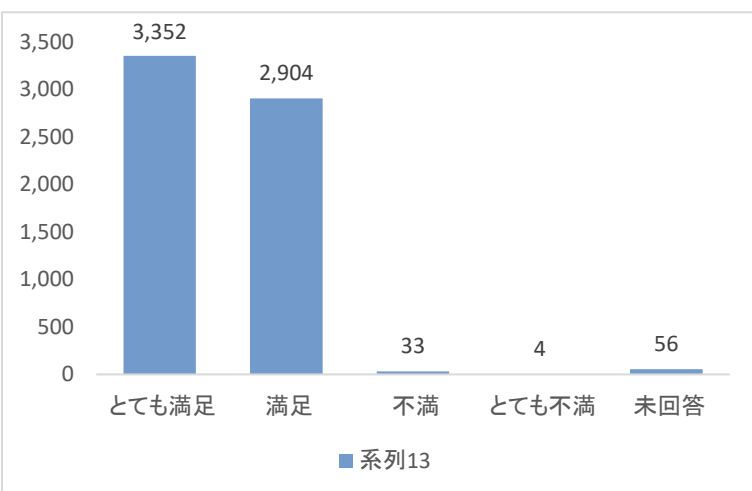
	人数	総計	割合
Oh!レガス	144	6,821	2.1%
広報しんじゅく	166		2.4%
新聞	117		1.7%
チラシ・ポスター	584		8.6%
雑誌	162		2.4%
漱石山房記念館X	118		
漱石山房記念館HP	857		
財団ウェブサイト	284		
テレビ	110		1.6%
家族・知人	1732		25.4%
新宿区HP	33		0.5%
PRTIMES	8		0.1%
財団YouTube	1		
その他	2,505		36.7%
	0		0.0%



※複数回答あり

オ 満足度

	人数	総計	割合
とても満足	3,352	6,349	52.8%
満足	2,904		45.7%
不満	33		0.5%
とても不満	4		0.1%
未回答	56		0.9%



漱石山房記念館の感想（抜粋）

漱石山房に集まった方々と漱石の客間、書斎に興味をそそられます。木曜会も鏡子夫人と子どもさんたちの暮らしたその場所に居ることに驚きすら感じます。
想像していたよりも展示の情報がよくて満足しました。1Fの漱石の部屋の再現に目を見張りました。入り口付近にいらっしゃった女性スタッフさんの説明が素晴らしかったです。ありがとうございました。
アクスタ撮影スペース楽しかったです。
大変居心地がいい。カフェが閉まっていて残念。夏休中は開けてほしい。
漱石の書斎をリアルに再現しているのは見事。様々な細部の説明があってよくわかる。素敵な空間です。親子連れ、外国人客もいて、よい憩いの場となっていると思いました。
グッズが充実していた。さらにグッズを増やして欲しい。
無料で観覧できるところがあることを知らない人が多い。もっと自由に入りやすくするように工夫した方がいいと思う。
視覚障がい者にとって音声ガイドはとても助かった。
写真禁止の意味がわかりません。本の内容が書いてある最初のsectionは撮ってもいいのでは？
ガイドの方が丁寧に説明して下さってとても勉強になり、楽しかったです。
何度来ても初めて見るものがあり感激します。いつもきれいで気持ちがいいです。カフェに訪れるのも楽しみです。
近々ミュージカル「アイラブ、坊っちゃん」を観に行くので、丁度色々とみられて良かったなと思います。これを機にもっと漱石の作品を読んでみたいくなりました。

《通常展》夏目漱石と漱石山房（其の二）の感想（抜粋）

当時の達筆書簡、崩した草書文字等が殆ど読めないのに啞然。漱石の書画や松岡氏の尽力の後が見られてよかった。
分類が分かりやすく、心に残りやすいと感じた。周辺の人物への興味が湧いた。

《通常展》テーマ展示「外国語になった漱石作品」の感想（抜粋）

外国語で漱石作品を見たことがなかったので新鮮で面白かったです。日本語との対比をもっと見たかったので、文例をもっと増やしていただけたら良かったと思います。
有名なフレーズが英語になるとどうなるかや、漱石の翻訳に対するスタンスを知ることが出来て興味深かったです。

《通常展》テーマ展示「そうせきとどうぶつたち」の感想（抜粋）

「ちようさほうこくしょ」を息子は夢中で楽しんでいました。大人は静かに見る事が出来て良かったです。夏休みにぴったりのテーマで、親子で楽しめました。
動物を特集しているのはありそうでなかった観点だと思います。私自身動物が好きなので、これを機に動物に注目しながら読んでみたいと思います。

《特別展》発表120年記念 『吾輩ハ猫デアル』の感想（抜粋）

猫に特化した展示が面白かった。これからも個々の作品に特化した展示が見たい。
この展示が見たくて来館しました。作品の背景をわかりやすく展示していただいて楽しく拝見できました。階段のイラストのネコもかわいかったです。
「吾猫」発表120年の記念の年に相応しい充実した内容でした。展示資料目録が用意されているのはありがたいのですが、文字が小さいので読み取るのに苦労しました。
写真が撮れるところがあるといいなと思いました。

《通常展》夏目漱石と漱石山房其の三の感想（抜粋）

・漱石の手紙から、周りの人々への想いが感じられて良かったです。妻の病気を労わる手紙が好きです。
・新しい資料もあり、興味深かった。手紙は、小説とは違った魅力がある。

漱石山房記念館に対する意見・要望

意見・要望	対応
アクリルスタンドは絶対売れるので、バリエーションを増やしていただけると助かります。	イラストバージョンを新規作成、発売しました。
写真NGが多すぎと思いました。せっかくなので写真をとりたいのですが...	資料については著作権によりすぐには難しいですが、ご来館の記念に撮影いただける場所として、主に特別展期間中などにフォトスポットを設けました。
受付の方のおしゃべりが気になり、モニターに集中できなかった。少し残念	職員には随時、注意喚起を行っています。
漱石の一言コーナーには英訳があっても良いかなと思いました。	名言集パネルのリニューアルについて、区に提案します。
漱石のことばのパネル、もっと大きい字にして欲しかった。目が疲れました。	
今回は子供用の展示があったからだと思うが、大声で話すマナーの悪い人が多かった子供でも注意は必要。	その都度声がけをするようにします。
このような場所があることをつい最近知りました。もっとPRしてもよいかと思います。	他財団管理施設にてデジタルサイネージへの掲示やイベントでの配布、「子どもちらし」への掲載、財団のスケジュールメルिटを利用した広報や、Xでの情報発信の強化を行いました。今後より発信手段を検討していきます。

3. 省エネルギー・省資源

- (1) 不要照明の消灯、適正な空調温度の管理等の省エネルギー活動を行った。
- (2) データによる資料の共有等により用紙の使用を抑制し、省資源活動を行った。
- (3) 省エネルギー・省資源活動の目標については、別途新宿区に提出する「環境マネジメント活動報告書」にて設定の上、進捗管理を行った。
- (4) 新宿区の環境施策を踏まえ、施設内の電気について、ゼロカーボン電力（調整後排出係数 0.000 kg—CO₂/kWh）を使用。
- (5) 区の「みどりのカーテン」普及啓発事業に参加し、「ゼロカーボンシティ新宿」の実現に向けた取り組みを行った。

項目	今年度	前年度	前年度比	説明
電気（kWh）	282,694	294,558	95.9%	夏季の節電効果や不要な電気消灯の徹底し抑制した
ガス（m ³ ）	49	39	132.4%	カフェ利用者増に伴う増
水道（m ³ ）	733	1,517	81.2%	夏季の屋上散水取りやめによる減
廃棄物（kg）	2,120	2,000	106.0%	ごみ分別の徹底や職員のマイボトル持参等の取り組みを行った 不用品・老朽した消耗品の整理に伴う増

4. 管理運営経費に関すること

(1) 適正な会計

公益法人会計に準拠した会計システムによる事務処理や税理士、監査法人による外部チェックを実施した。

(2) 目標の達成

	目標	実績
① 本業務収入 [観覧料等]	5,706,000 円	5,920,809 円
② 本業務（提案事業）収入 [施設活用イベント参加料等]	0 円	0 円

(3) 経費節減、収入・利益率確保の努力

① 設備等管理業務の一元化

機械警備や電気工作物点検など他の当財団管理施設と契約を一本化することで委託費の削減を図った。

② 財団のスケールメリット

広報紙や施設ガイド、ホームページ等の広報活動は、財団全体で包括的・効率的に行った。また、講座室等の施設予約事務は、財団独自の総合受付システムを活用して、各施設の窓口で横断的に実施した。

③ 省エネルギーの推進

年間を通じて不要照明の消灯、適正な空調温度の管理等の省エネルギーに取り組んだ。また、夏季に「みどりのカーテン」を実施し、建物の温度を下げて冷房効果を高めることで節電を行い、「ゼロカーボンシティ新宿」への取り組みを進めた。

④ PR 活動の推進

財団広報紙「Oh!レガス新宿ニュース」（年 24 回、各 80,000 部）、駅表示広告（早稲田駅・神楽坂駅・牛込柳町駅）、施設ガイド（年 1 回発行）、メンバーズ倶楽部会報（年 6 回発行）、ニュースレター（年 3 回、1 回 5,000 部発行）、館報（年 1 回、300 部発行）により、施設を PR した。

⑤ 地域人材との協働

博物館ボランティア制度を活用して、再現展示室ガイドやチラシ発送、ニュースレターの校正等で延べ 381 回、登録ボランティアが活動を行った。

⑥ 自主事業収入の区への還元

財団自主事業であるミュージアムショップについて、収支実績確定後に収支差額（漱石山房記念館、新宿歴史博物館、落合 3 記念館分の合計）の一部を区に還元した。

令和 7 年度は 478,627 円を区へ還元した（漱石山房記念館課分）。

収支実績

(単位：千円)

収 入		
項 目	計 画	実 績
指定管理本業務	5,706	5,920
指定管理本業務 (提案事業)	0	0
指定管理協定による 収入	80,495	80,495
収入合計	86,201	86,415

支 出		
項 目	計 画	実 績
指定管理本業務 ※パート人件費含む	67,936	61,628
指定管理本業務 (提案事業)	710	626
人件費 ※パート人件費含まない	17,555	17,703
支出合計	86,201	79,957

※千円未満四捨五入のため、内訳の総計が合計に合わない場合がある。

(1) 収入実績

単位：円

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績
①指定管理本業務収入	5,706,000	5,920,809	214,809	5,704,134
観覧料収入	5,487,000	5,487,500	500	5,439,250
講座室利用料収入	41,000	60,000	19,000	69,000
ぐるっとパス販売等収入	150,000	344,963	194,963	167,538
図書室複写機電気料	28,000	28,346	346	28,346
②指定管理本業務(提案事業)収入	0	0	0	0
講座参加料収入	0	0	0	0
③指定管理協定による収入	80,495,000	80,495,000	0	78,703,000
区指定管理収入	80,495,000	80,495,000	0	78,703,000
収入合計 (①+②+③)	86,201,000	86,415,809	214,809	84,407,134

(2) 支出実績

総括表

単位：円

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
①指定管理本業務	67,936,000	61,628,495	△ 6,307,505	60,369,141	パート人件費を含む
②指定管理本業務(提案事業)	710,000	625,885	△ 84,115	428,254	
支出合計 (①+②)	68,646,000	62,254,380	△ 6,391,620	60,797,395	
人件費	17,555,000	17,702,880	147,880	16,759,083	パート人件費を含まない
繰入金支出	0	0	0	0	
支出総合計	86,201,000	79,957,260	△ 6,243,740	77,556,478	

①指定管理本業務

(i) パート人件費

単位：円

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
パート人件費支出	9,701,000	9,191,083	△ 509,917	7,916,675	
パート人件費	9,701,000	9,191,083	△ 509,917	7,916,675	
合計	9,701,000	9,191,083	△ 509,917	7,916,675	

(ii) 一般管理費項目詳細

単位：円

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
一般事務用品等の購入	1,298,000	997,102	△ 300,898	1,511,957	
消耗品費	1,298,000	997,102	△ 300,898	1,511,957	
租税公課費の支出	2,838,000	2,651,801	△ 186,199	2,282,883	
租税公課	2,838,000	2,651,801	△ 186,199	2,282,883	消費税等
その他一般管理費支出	901,000	760,657	△ 140,343	634,461	
旅費交通費	83,000	83,000	0	45,000	
通信運搬費	818,000	677,657	△ 140,343	589,461	
合計	5,037,000	4,409,560	△ 627,440	4,429,301	

(iii) 施設・設備維持管理費項目詳細

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
委託費支出	35,988,000	34,458,411	△ 1,529,589	31,310,032	
委託費	35,988,000	34,458,411	△ 1,529,589	31,310,032	施設管理・清掃・警備業務、機械整備等
修繕費支出	1,691,000	1,724,882	33,882	2,375,461	
修繕費	1,691,000	1,724,882	33,882	2,375,461	施設・設備修繕
その他施設・設備維持管理費支出	11,231,000	8,441,438	△ 2,789,562	9,696,252	
光熱水費	11,079,000	8,362,598	△ 2,716,402	9,617,932	空調室内機故障による停止
使用料及び賃借料	152,000	78,840	△ 73,160	78,320	
合計	48,910,000	44,624,731	△ 4,285,269	43,381,745	

(iv) 運営費項目詳細

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
印刷製本費支出	2,585,000	1,525,303	△ 1,059,697	2,050,950	
印刷製本費	2,585,000	1,525,303	△ 1,059,697	2,050,950	
その他運営費支出	1,703,000	1,877,818	174,818	2,590,470	
保険料	47,000	31,738	△ 15,262	46,277	
諸謝金	376,000	256,000	△ 120,000	256,000	
支払負担金	0	363,000	363,000	1,124,200	
支払手数料	348,000	295,820	△ 52,180	232,733	
支払い利息	162,000	161,879	△ 121	202,287	
リース債務	770,000	769,381	△ 619	728,973	
合計	4,288,000	3,403,121	△ 884,879	4,641,420	

②指定管理本業務（提案事業）

単位：円

項目	計画	実績	計画との差異	(参考)前年度実績	備考
一般事務用品等の購入	264,000	339,885	75,885	209,900	
消耗品費	264,000	339,885	75,885	209,900	
その他一般管理費支出	6,000	0	△ 6,000	520	
通信運搬費	6,000	0	△ 6,000	520	
委託費支出	330,000	286,000	－	176,814	
委託費	330,000	286,000	△ 44,000	176,814	
印刷製本費支出	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	
その他運営費支出	110,000	0	△ 110,000	41,020	
保険料	0	0	0	41,020	
諸謝金	110,000	0	△ 110,000	0	
合計	710,000	625,885	△ 84,115	428,254	

③指定管理本業務計①＋②	68,646,000	62,254,380	△ 6,391,620	60,797,395	
--------------	------------	------------	-------------	------------	--

自主事業（利益配分を実績確定後に区に配分する分） ※ ミュージアムショップは財団自主事業として運営

項目	収入	支出	収支差額	区還元額
ミュージアムショップ実績	10,307,718	7,914,582	2,393,136	478,627

※新宿歴史博物館分、漱石山房記念館分の収支を合算し収支がプラスになったため、漱石山房記念館収支差額の2割（478,627円）を区に還元した。

5. 事業に関すること

(1) 事業実施

① 本業務及び本業務（提案事業）

事業名	評価指標	計画	実績
メンバーズ倶楽部	登録者数	90 人	111 人
通常展展示替え	実施回数	2 回	4 回
レガスマツリ (漱石山房まつり)	参加人数	800 人	1,201 人
2 月 9 日朗読会	参加者数	50 人	56 人
第 13 回ふみのしおり朗読会	参加者数	50 人	34 人
夜間開館 漱石山房講談会	参加者数	70 人	53 人
夜間開館 レガス出張コンサート 漱石山房記念館で二胡を聴こう	参加者数	70 人	51 人
子ども向け落語紙切り	—	—	51 人
開館 8 周年記念来館者プレゼント	—	—	375 人
新年来館者プレゼント	—	—	360 人
アンケート強化キャンペーン	—	—	1,597 人
バルーンフォトスポットの設置	—	—	—

(2) 効果的・効率的な視点

漱石山房記念館の設置目的は、新宿区立漱石山房記念館条例第 1 条「夏目漱石終焉の地において、夏目漱石が亡くなるまで過ごした旧居「漱石山房」を形あるものとして再現し公開するとともに、夏目漱石の作品や功績を広く発信していくことにより、地域の文化や歴史に対する区民の愛着と誇りを育み、もって地域文化の振興と発展に資するため、新宿区立漱石山房記念館を設置する」とされている。この設置目的を達成するため、漱石山房記念館の管理運営、財団自主財源事業及び新宿区補助事業等と連携することで、効果的・効率的に館運営を行った。

事業実績（指定管理事業以外）

1. 財団事業との連携

財源	事業名	日時	事業内容・実績
補助	郷土資料の調査収集・活用	通年	夏目漱石に関する資料の収集、貸出や利用者からの問合せに対するレファレンス、館蔵資料の整理など。 (1)寄贈資料受入:10件192点 (2)図書室の書籍を、新宿区立図書館OPAC 68冊登録。 (3)当館資料や漱石に関するレファレンス 888件
補助	展示会の開催	令和6年 12月19日～ 令和7年 4月20日	《通常展》「夏目漱石と漱石山房 其の二」 漱石山房記念館資料の核となる「松岡・半藤家資料」や、近年新たに収蔵された資料を中心に、夏目漱石と漱石山房をたどった。 観覧者数:1,110人(4月1日～20日)、ギャラリートーク:51人(4月12日) 担当学芸員による展示見どころ紹介動画を作成、YouTubeにて公開
		4月24日～ 7月13日	《通常展》テーマ展示「外国語になった漱石作品」 英訳本を中心に、翻訳された漱石作品を展示し、文章の違いやブックデザインを味わう。併せて、広告の校正原稿や、翻訳者が漱石遺族と交わした手紙など、翻訳に係わる資料も展示した。 観覧者数:4,729人 ギャラリートーク:79人 担当学芸員による展示見どころ紹介動画を作成、YouTubeにて公開
		7月17日～ 10月5日	《通常展》テーマ展示「そうせきとどうぶつたち」 夏目漱石の作品や初版本に描かれた多様な動物を紹介した。また、門下生の装丁、夏目家で飼われた動物たちについても取り上げた。 観覧者数:5,460人 ギャラリートーク:61人 さがし犬・猫の手配書(展示室内企画):888人 ワークシート(どうぶつちょうさほうくくしよ)、担当学芸員による展示見どころ紹介動画を作成、YouTubeにて公開
		10月11日～ 12月7日	《特別展》「発表120年記念『吾輩は猫デアル』」 夏目漱石の作家デビュー作「吾輩は猫である」発表120年を記念した展示会。漱石に本作を執筆させた高浜虚子とのやり取りや「吾輩は猫である」の作品世界、そして執筆の場「猫の家」に関する貴重な資料を展示。 観覧者数:5,380人、ギャラリートーク:86人、特別展記念講演会「笑いの方法—明治の文体と『吾輩は猫である』」60人、朗読会「にゃんにゃんニャーニャー」猫づくし 第13回ふみのしおり朗読会」34人、永青文庫との相互割引「ねこ割り」215人 展示室内企画「吾輩は〇〇デアル」を実施。 担当学芸員による展示見どころ紹介動画を作成、YouTubeにて公開
補助	《通常展》テーマ展示「そうせきとどうぶつたち」バルーンショー	令和7年 12月13日～ 令和8年 4月19日	《通常展》「夏目漱石と漱石山房 其の三」 夏目漱石記念施設整備基金の活用や多くの方からの寄贈により収集してきた貴重な資料を展示。記念館を代表する資料「松岡・半藤家資料」や、近年新たに収蔵された資料も加えながら、夏目漱石と漱石山房の軌跡をたどる。 観覧者数: 6,427人(3月31日迄)、ギャラリートーク: 65人 担当学芸員による展示見どころ紹介動画を作成、YouTubeにて公開 展示室内上映用紹介動画を作成、展示室内モニターにて公開
		7月21日	夏休み期間中、来館のきっかけづくりとして、どうぶつのバルーンを作成するショーを行い、グリーティングを通してバルーンを子どもたちに配布した。 出演:p0p0 balloon 参加者数:13人

財源	事業名	日時	事業内容・実績
補助	夏休みこども講座	7月27日	夏休み子ども向けワークショップ「ネコの和綴じノートづくり」 千代紙、半紙、とじ紐を用いた和綴じノートづくり。漱石山房記念館オリジナルのネコのイラストシール、初版本デザインシール、マスキングテープ等により参加者自身にアレンジを楽しんでもらうワークショップを実施した。 講師：漱石山房記念館職員、学芸員実習生 参加者数：33人
補助	夏休みこども講座	8月2日	「親子で楽しむ読書感想文」 読書感想文について、小学校1～2年生の親子を対象に、書き方のコツを対話式ワークショップの形式で解説した。 講師：藤田利江(全国学校図書館協議会学校図書館スーパーバイザー(SLS)、NPO法人学校図書館実践活動研究会理事)、参加費：1,000円(1組)、参加者数：9組18名
補助	《通常展》テーマ展示「そうせきとどうぶつたち」猫の紙切り工作	8月2日、23日	《通常展》テーマ展示「そうせきとどうぶつたち」に関連した子ども向けワークショップ。「吾輩は猫である」主人公の猫をモチーフに、猫が飛び出すグリーティングカードづくりを行った。 講師：漱石山房記念館職員、新宿歴史博物館ボランティア 参加者数：49人
補助	漱石山房講談会	8月30日	「漱石山房講談会」(夜間開館) 講談師による創作講談「『吾輩は猫である』誕生物語」、大河ドラマに合わせた「難波屋おきた」、前座による「八犬伝」の3つの演目で実施した。 出演：神田あおい、神田山兎(講談師) 参加者数：53人
補助	新宿区立中学校職場体験	①9月3日～5日 ②11月5日～7日	区立中学生の職場体験の受け入れ ①西早稲田中：延べ6人、新宿中：延べ6人 ②新宿西戸山中：延べ6人
補助	文学連続講座	7月12日・19日	「夏目漱石『吾輩は猫である』を読む」 高浜虚子の勧めで俳句雑誌『ホトギス』に発表してから今年で120年を迎えることを記念して、2回にわたって丁寧に読み解いた。 講師：松下 浩幸氏(明治大学教授) 参加者数：延べ85人
補助	開館記念講演会	9月20日	「漱石解説—『吾輩は猫である』の世界—」 イベント内容：漱石山房記念館の開館記念日9月24日にちなむ講演会。今回は、夏目漱石の作家デビュー作で発表120年になる「吾輩は猫である」をテーマとした。 講師：佐藤裕子(フェリス学院大学名誉教授) 参加者数：57人
補助	特別展 記念講演会	11月22日	「笑いの方法—明治の文体と『吾輩は猫である』」 特別展に合わせ、明治の文体と『吾輩は猫である』についての講演を行った。 講師：北川扶生子(関西学院大学教授) 参加者数：60人

財源	事業名	日時	事業内容・実績
補助	朗読劇	11月2日	「朗読劇「吾輩は猫である」」 《特別展》発表120年記念『吾輩ハ猫デアル』に合わせて開催し、人気声優による朗読劇を行った。 出演:小林裕介(主演)、眞對友樹也、津田拓真、矢野優美華、小池貴大 参加者数:178人
補助	九日会	11月9日	「猫と作家から見た漱石」 『猫と罰』(新潮社)で「日本ファンタジーノベル大賞2024」を受賞作家による講演を行った。終了後、ミュージアムショップの販売を伴うサイン会も行った。 講師:宇津木健太郎(作家) 参加者数:62人 ※新宿区との共催
		3月9日	「子規から漱石へー海を越えることば」 作発表120年「吾輩は猫である」にちなみつつ、漱石とその親友正岡子規との交流について日本近代文学の研究者による講演を行った。 講師:紅野謙介(日本大学名誉教授、日本近代文学館専務理事) 参加者数:66人 ※新宿区との共催
自主	文学さんぽ	5月31日	「漱石と猫の散歩道」 「吾輩は猫である」発表120年を記念し、漱石が「吾輩は猫である」を執筆した千駄木の猫の家を中心に散策した。 解説:新宿歴史博物館ガイドボランティア(6人) 参加者数:21人
		12月7日	「漱石忌 夏目漱石の墓参り」 漱石の忌日12月9日に合わせて、雑司ヶ谷霊園にある漱石の墓所や小泉八雲墓を始め、池田菊苗・大塚楠緒子・中村是公など漱石ゆかりの人物の墓をボランティアガイドの解説付きでまわった。 解説:新宿歴史博物館ガイドボランティア(8人) 参加者数:20人
補助	俳句講座	12月6日	「俳句という生き方ー子規の正直、漱石の理想ー」 現代俳句協会幹事の神野紗希氏を講師に迎え、夏目漱石と正岡子規、それぞれの俳句を読み解きながら、生き方と直結した言葉の輝きについて思いを馳せる講演の後、事前投句した俳句を参加者で選句し句会を行った。 講師:神野紗希(俳人、現代俳句協会常務理事) 参加者数:29人
補助	文学館学芸員講座	2月11日	「資料が語る武者小路実篤の意外な素顔」 文学館学芸員に現場からの最先端講義を聞く講座。武者小路実篤記念館の学芸員による、武者小路実篤と漱石の関係や記念館の活動紹介等について講演を行った。 講師:伊藤陽子(一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事務局次長、首席学芸員(副主幹)) 参加者数:38人

2. 新宿区等との連携

連携先	事業名	日時	実績
	ミステリークエスト～夏目漱石からの挑戦状Ⅶ～	7月21日～ 8月24日	夏目漱石をテーマとしたクイズラリー。 場所:漱石山房記念館、西落合図書館 参加者数:244人 ※西落合図書館との共催
	戸山図書館主催見学会への協力	10月25日	新宿区立戸山図書館と連携し、漱石山房記念館にて特別展担当学芸員によるミニ講演と展示見学を行った。 参加者数:18人
	鶴巻図書館主催見学会への協力	11月3日	新宿区立鶴巻図書館と連携し、漱石山房記念館にて特別展担当学芸員によるミニ講演と展示見学を行った。 参加者数:28人
	大人のための朗読寄席 朗読と落語で楽しむ「夢十夜」	2月7日	中町図書館 図書館サポーターと早稲田大学出身の若手落語家による、漱石の小説「夢十夜」を演目とした朗読と寄席のイベント。 場所:漱石山房記念館 地下1階講座室 参加者数:43人 ※鶴巻図書館、中町図書館との連携による
新宿区	令和6年度新宿区夏目漱石コンクール 絵画部門入賞作品展示	7月19日～ 8月3日	令和6年度新宿区夏目漱石コンクール優秀作品(絵画)展示 展示場所:漱石山房記念館 地下1階多目的スペース
	令和7年度新宿区夏目漱石コンクール 絵画部門入賞作品展示	12月20日～ 2月1日	令和7年度新宿区夏目漱石コンクール優秀作品(絵画)展示 展示場所:漱石山房記念館 地下1階多目的スペース
	新宿区×劇場版「転生したらスライムだった件～蒼海の涙編～」コラボキャンペーンイベント「転生したら芸術家たちが暮らす新宿だった件」	2月3日～ 3月15日	劇場版「転生したらスライムだった件～蒼海の涙編～」とタイアップし、漱石山房記念館・新宿歴史博物館などの区立施設5館に書下ろしステッカー配布を行った。 参加者数:647人(ステッカー配布数)
熊本県 玉名市	新宿区・玉名市協働展「俳句フォト夏目漱石の旅 第9期優秀作品展」	11月11日～ 12月14日	小説『草枕』の舞台となった、熊本県玉名市と新宿区の協働展。玉名市草枕交流館で全国各地の夏目漱石ゆかりの地の写真俳句のうち、歴代優秀作品を展示。 展示場所:漱石山房記念館地下1階多目的スペース
熊本県	漱石山房記念館ライトアップー竹あかりー	12月3日～ 12月26日	新宿区が熊本県等と締結した「文化と歴史を縁とした包括連携に関する覚書」に基づき、漱石山房記念館前庭において竹灯籠によるライトアップを実施した。 点灯時間:16時30分から20時まで(休館日も点灯)
神楽坂おかみさん会	「第5回神楽坂ストリート川柳」への協力	4月1日～ 5月7日	神楽坂文化振興会(別名:神楽坂おかみさん会)が実施する「第5回神楽坂ストリート川柳」への協力。ポスター掲示、チラシ配布、投句箱の設置のほか、新設の新宿区立漱石山房記念館賞の賞品に記念館グッズを提供し授賞式(5月24日)に参加した。
NPO法人 粋なまちづくり倶楽部	「神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2025」への協力	5月18日～ 31日	NPO法人粋なまちづくり倶楽部等が実施する「神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2025」の参加者に当館オリジナルステッカーをプレゼント。 ステッカー配布数 9枚

◎参考資料

- 1 新宿区立新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者
の管理業務に係る事業評価に関する要綱・・・・・・・・・・参考資料 1
- 2 事業評価委員会委員名簿・・・・・・・・・・参考資料 2
- 3 事業評価委員会開催実績・・・・・・・・・・参考資料 3

参考資料 1

新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者の管理業務に係る事業評価に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、新宿歴史博物館等文化・歴史施設の指定管理者が実施した管理業務に係る事業を評価するにあたり、必要な事項を定めることを目的とする。

(事業評価委員会の設置)

第2条 区長は、指定管理者が行う新宿歴史博物館等文化・歴史施設の管理業務に関する評価(以下「評価」という。)を行なうため、新宿歴史博物館等文化・歴史施設指定管理者事業評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

2 委員会は次の施設の評価を行うものとする。

- (1) 新宿歴史博物館
- (2) 林芙美子記念館
- (3) 佐伯祐三アトリエ記念館
- (4) 中村彝アトリエ記念館
- (5) 漱石山房記念館

3 委員会は年度ごとに設置し、前項の評価の終了をもって廃止する。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる職にある者につき、区長が委嘱し、又は任命する委員6名をもって組織する。

- (1) 外部有識者 4名
- (2) 内部委員 2名

2 委員会に委員長を置き、委員長は内部委員の中から任命する。

3 委員長は、委員会を代表し会務を総理する。

4 委員長に事故あるときは、委員のうちから委員長があらかじめ指名した者がその職務を代理する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱した日又は任命した日から所定の評価業務が終了した日までとする。

(委員会の開催)

第5条 委員会は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員長は、過半数以上の委員の出席がなければ、委員会を開くことができない。

3 委員長は、必要に応じ、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

(評価の基準)

第6条 評価は、次に掲げる項目について、別に定める評価の基準により行なうものとする。

- (1) 施設の管理業務に関すること
- (2) 施設の運営方法に関すること
- (3) 管理経費の収支状況に関すること

(4) その他委員会が必要と認める事項

(評価方法)

第7条 委員会は、前条の評価を次のとおり行う。

(1) 指定管理者が提出した事業実施報告書による評価

(2) 指定管理者に対するヒアリングによる評価

(評価結果の決定)

第8条 区長は、文化観光産業部文化観光課が取りまとめる委員会の評価を踏まえ、評価結果を決定する。

(評価対象)

第9条 委員会が行う評価の対象は、当該年度の前年度に実施した管理業務とする。

(委員会の庶務)

第10条 委員会の庶務は、文化観光産業部文化観光課が処理する。

(補則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年6月26日から施行する。

この要綱は、平成23年6月30日から施行する。

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

この要綱は、令和3年6月1日から施行する。

この要綱は、令和4年6月1日から施行する。

参考資料 2

新宿歴史博物館等文化・歴史施設

令和7年度事業評価委員会 委員名簿

所属等	氏名
大東文化大学文学部教授(博物館学)	宮瀧 交二
税理士	加藤 弘美
朗読の会「ふみのしおり」主宰	岩田 理加子
榎町地区町会連合会会長・ 早稲田町町会長	夏山 勇
文化観光産業部産業振興課長	内野 桂子
教育委員会事務局教育調整課長	徳永 創

参考資料 3

新宿区立新宿歴史博物館等文化歴史施設の 指定管理者の管理業務に係る事業評価委員会の開催実績

1 日 時 令和8年7月31日(金) 午後1時30分から5時まで

2 場 所 新宿歴史博物館 二階 講堂

3 出席者

加藤委員、岩田委員、夏山委員、内野委員、徳永委員

※【欠席】宮瀧委員

*委員のほか

指定管理者（事業説明及び質疑応答のため8名）

事務局（文化観光課長 ほか2名）

4 会議内容

(1) 開会あいさつ・委員紹介

(2) 評価方法の説明

(3) 新宿歴史博物館、林芙美子記念館、佐伯祐三アトリエ記念館、中村彝アトリエ記念館、漱石山房記念館の指定管理者の評価について

ア 指定管理者事業説明

イ 事業説明に関する質疑応答

ウ 各委員による評価

エ 評価に基づく意見交換